

復興まちづくりイメージトレーニングの概要

○災害復興では、一刻も早く元の生活水準に戻りたいという**個人の「生活再建」の視点**と、脆弱な市街地の再生を防止し、**良好な市街地として復興させるべきとの「市街地復興」の視点**が食い違ふことが懸念される。災害が発生してもこの両者のバランスを取った適切な対応がとれるよう、**復興まちづくりイメージトレーニングの実施が有効**。

【第1部】生活再建シナリオの検討

世帯属性、各世帯の被災状況等を設定し、被災住民になりきって、生活再建するシナリオを作成

【第2部】市街地復興シナリオの検討

市街地の被災状況を設定し、復興計画プランナーの立場から、市街地を復興するシナリオを作成

【第3部】生活再建シナリオを考慮した市街地復興シナリオ検討

生活再建と市街地復興の2つのシナリオを比較し、実現可能性や問題点を検討

効果

- 現行の体制・制度では対応できない課題を明確化
- 被災以前に来たる復興状況に対応できるような仕組みを準備
- 復興まちづくりに対応可能な人材を育成



復興まちづくりイメージトレーニングの様子(海老名市)
国土交通省都市局都市安全課資料より